

令和 8 年度

県立広島大学助産学専攻科入学試験

専門科目入学試験問題

(母性看護学・小児看護学)

試験時間 10 : 00 ～ 11 : 00

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子（16 ページ）には、解答用紙（2 枚）が挟み込んであります。試験開始の合図があったら、直ちに中を確認、印刷や枚数の不備などがあった場合、監督者に申し出てください。
- 3 問題冊子の間に挟み込んである解答用紙を取り出して、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 試験室で配付された問題冊子は、退出時に持ち帰ってください。

このページは白紙です。

このページは白紙です。

Ⅰ 次の【問1】～【問5】に答えなさい。

【問1】包括的セクシュアリティ教育について正しいのはどれか。次のa～dの中からすべて選びなさい。

- a. 包括的セクシュアリティ教育は、妊娠前から女性やカップルの健康状態を改善・増進することが主な目的である。
- b. 包括的セクシュアリティ教育は、知識の習得のみならず態度、価値観、関係性のあり方も含む性教育である。
- c. 国際セクシュアリティ教育ガイダンスは、国レベルのセクシュアリティ教育実施における、詳細な推奨事項を提供するためのものである。
- d. 国際セクシュアリティ教育ガイダンスでは、5歳から18歳程度の子どもや若者を対象としている。

【問2】周産期システムについて正しいのはどれか。次のa～eの中からすべて選びなさい。

- a. 周産期母子医療センターは、施設・設備の状況や体制により、厚生労働省が指定、認定する。
- b. 地域周産期母子医療センターは、母体・胎児集中治療室（maternal-fetal intensive care unit：MFICU）を含む産科病棟、新生児集中治療室（neonatal intensive care unit：NICU）を含む新生児病棟を備えている。
- c. オープンシステムとは、ローリスク妊婦の妊婦健診を助産所や診療所で行い、分娩は助産所の助産師や診療所の医師が連携病院へ出向き共同で管理するシステムの一つである。
- d. 母体搬送とは、児が生まれる前に妊婦を高次医療機関に搬送することである。
- e. 母体・胎児集中治療室（maternal-fetal intensive care unit：MFICU）には、常時3床に1名の助産師または看護師が勤務していなければならない。

【問 3】人工妊娠中絶について正しいのはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 日本の人工妊娠中絶件数は減少傾向を示している。
- b. 実施可能な時期は妊娠 24 週未満である。
- c. 母子保健法に規定されている。
- d. 適応条件として、「生まれてくる児に重篤な健康問題につながる心身の異常がある場合」がある。
- e. 原則として、本人および配偶者またはパートナーの同意が必要である。

【問 4】次の a～e の中から正しい組み合わせをすべて選びなさい。

- a. 死産の届出 _____ 戸籍法
- b. 低出生体重児の届出 _____ 母子保健法
- c. 助産施設への入所処置 _____ 児童福祉法
- d. 生理休暇 _____ 母体保護法
- e. マタニティハラスメントの防止 _____ 労働基準法

【問 5】「健康日本 21（第三次）」について正しい記述はどれか。次の a～e の中から 1 つ選びなさい。

- a. 2023 年度から開始され、20 年間の長期計画である。
- b. 「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」は基本方針に含まれていない。
- c. ビジョンとして「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」を掲げている。
- d. 主に乳幼児の健康増進に特化した計画である。
- e. 健康づくりの主体は行政のみであり、民間団体との連携は行わない。

Ⅱ 次の【問1】【問2】に答えなさい。

【問1】副生殖器の性分化、精子形成・排卵に関わるホルモンについて、次の①～⑥に正しい語句を入れなさい。なお、略語での解答は不正解とする。

内生殖器の原基である（①）管と（②）管には胎生7週までは男女差はみられない。その後、男性胎児では精巣のライジッヒ細胞から分泌される（③）の作用により（①）管が発達し、精巣上体、精管、精嚢、輸精管へ分化する。また精巣のセルトリ細胞から分泌される抗（②）管ホルモンの作用により、（②）管は胎生11週までに消失する。一方、女性胎児では精巣を欠くため（①）管は退化消失し、（②）管が発達し、卵管、子宮、膈上部へ分化する。

（④）の分泌は、性、性周期の時期、妊娠－授乳などで著しく変化する。精巣摘除をされていない成人男性では、1～2時間周期のパルス状分泌からなる基礎分泌のみであるのに対し、妊娠していない成人女性では基礎分泌に加え、サーージ状分泌がある。（④）は男性にも女性にも作用するホルモンであり、（⑤）と（⑥）の2種類が存在する。男性では、（⑤）はセルトリ細胞に作用し、精子形成に機能する。セルトリ細胞はペプチドホルモンであるインヒビンの合成・分泌を促進する。また（⑥）は精巣のライジッヒ細胞に作用し、（③）の合成・分泌を促進する。女性では、月経周期の最初の4～5日間に分泌される（⑤）は卵胞の発育を開始させ、卵胞期が開始する。顆粒膜細胞は（⑤）の受容体を持つのでこれにより増殖する。月経周期の中間期は排卵期で、1～2日持続して多量の（⑥）が分泌され成熟卵胞の卵胞膜を破裂させて排卵を起こす。

【問 2】事例を読んで、次の問いに答えなさい。

A さん、52 歳、女性。専業主婦である。子どもは 2 人。長女は今年就職して会社の寮に入り、長男は昨年から地方の大学に行って家を離れている。13 歳年上の夫は退職して今年から家にいる。BMI 27、既往歴はない。月経周期が 47 歳ごろから不規則になっていた。最終月経より半年経過している。

「子どもが生まれてからは、家事も育児も一人で頑張ってきました。最近ふとした時に動悸や顔のほてり、動きたくないほどの疲労感があります。少しのことでイライラしやすく、夜の寝つきも悪くて困っています」と話している。

A さんは医師より、生活改善とホルモン補充療法（HRT）を勧められた。

A さんへの説明として正しいのはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 「閉経していると考えてよいでしょう」
- b. 「サプリメントでエクオールを摂取するのもひとつの方法です」
- c. 「ご家族の状況と A さんの症状とは関係ありません」
- d. 「更年期症状改善のため、ダイエットをしましょう」
- e. 「エストロゲン製剤は経皮剤が推奨されています」

Ⅲ 次の【問 1】【問 2】に答えなさい。

女性の肥満者に対する新規の高血圧症発症予防プログラムを立案し、従来のプログラムと比較して新規のプログラムの効果を評価することとした。特定健康診査の受診者で高血圧症ではないことが確認できた肥満者 700 人を、従来のプログラム群に 400 名と新規のプログラム群に 300 名を登録してプログラムを実施し、その後 5 年間の新規の高血圧症発症の有無を確認することとした。

【問 1】この研究の研究デザインはどれか。次の a～e の中から 1 つ選びなさい。

- a. 横断研究
- b. 介入研究
- c. コホート研究
- d. 症例対照研究
- e. 生態学的研究

【問 2】それぞれのプログラムを実施し、その後 5 年間の新規の高血圧症発症の有無を確認した。結果を以下に示す。

	5 年間の新規高血圧症発症の有無	
	あり	なし
新規プログラム群	75	225
従来プログラム群	125	275

(1) 従来プログラム群に対する新規プログラム群の新規の高血圧症発症の相対危険^{注)}を求めなさい。ただし、小数点以下第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位まで求めること。

注) 相対危険：ある要因に曝露した群と曝露しなかった群とで、疾病が発生する確率の比を表す指標

Ⅳ 次の【問 1】～【問 8】の設問に答えなさい。

【問 1】妊娠に伴う生理的変化で正しいものはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 基礎代謝が低下する。
- b. 膣分泌物が減少する。
- c. 膣が赤紫色に変化する。
- d. 乳輪内の皮脂腺が肥大する。
- e. 高温相が 2 週間以上持続する。

【問 2】超音波ドプラ法で胎児心音を全例で聴取可能になる時期はいつか。次の a～e の中から 1 つ選びなさい。

- a. 妊娠 5 週
- b. 妊娠 6 週
- c. 妊娠 8 週
- d. 妊娠 12 週
- e. 妊娠 15 週

【問3】事例を読んで、次の（１）（２）に答えなさい。

Bさん、35歳、初産婦。妊娠36週2日。身長160cm、非妊時体重60.0kg。妊婦健康診査時、体重70.0kg（2週間前の妊婦健康診査から2.0kgの増加）。子宮底長31cm、腹囲90cm。血圧126/78mmHg。尿蛋白（－）、尿糖（±）。両下肢の浮腫（－）。ヘモグロビン値10.5g/dL、ヘマトクリット値31.0%、空腹時血糖85g/dL。胎児心拍数140bpm。子宮頸管長32mm。

（１）妊娠経過のアセスメントで正しいのはどれか。次のa～fの中からすべて選びなさい。

- a. 妊娠貧血
- b. 切迫早産
- c. 妊娠糖尿病
- d. 過剰な体重増加
- e. 妊娠高血圧症候群
- f. a～eはあてはまらない

（２）妊婦健康診査でレオポルド触診法に続いて、子宮底長や腹囲の計測をしていると、Bさんが「息苦しい。気分が悪い」と訴えた。この時の助産師の対応で最も適切なものはどれか。次のa～eの中から選びなさい。

- a. 深呼吸を促す。
- b. 血圧を測定する。
- c. 左側臥位にする。
- d. 酸素吸入を行う。
- e. 入院を勧める。

【問4】事例を読んで、次の（１）（２）に答えなさい。

Cさん、26歳、初産婦。身長160cm。妊娠経過は順調であった。妊娠41週2日、午前2時に陣痛発来し、午前5時に入院した。入院時の内診所見は、子宮口4cm開大、展退度60%、Station-2、子宮口の硬さ 中、子宮口的位置 中央であり、児頭が直接触れた。透明の水様性の膣分泌物がみられ、BTB試験紙をつけると青色に変化した。児の推定体重は3,490gである。陣痛周期 5～6分、持続時間 50秒。胎児心音の最良聴取部位は、右臍棘線上中央である。「どんどん痛くなっています。さっき、病院に来る途中で水っぽいものが流れてきました」と話す。

（１）入院時の助産師の判断で正しいものはどれか。次のa～eの中からすべて選びなさい。

- a. 正期産の時期である。
- b. 胎児は第2頭位である。
- c. 微弱陣痛である。
- d. 頸管は熟化している。
- e. 前期破水である。

入院から2時間経過した。陣痛周期 5分、発作持続時間 50秒、胎児心拍数モニタリングの所見は、reassuringである。内診所見は、子宮口5cm開大、展退度70%、Station-2であり、羊水は透明である。痛みのため朝食は摂取しておらず、「今は腰が痛いです」と話す。

（２）この時の助産師の対応で最も適切なものはどれか。次のa～eの中から選びなさい。

- a. 階段を歩行するよう勧める。
- b. 糖質が多い食べ物の摂取を勧める。
- c. 入浴を勧める。
- d. 酸素投与を始める。
- e. McRoberts〈マックロバーツ〉体位を勧める。

【問 5】産褥期の生理的変化で正しいものはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 呼吸数は増加する。
- b. 分娩後は一時的に尿量が減少する。
- c. 授乳時に後陣痛が増強する。
- d. 産褥 1 週間で子宮口は閉鎖する。
- e. 赤血球数およびヘモグロビン値は、産褥 3～4 日目に最低値となる。

【問 6】帝王切開術後の褥婦に対しての助産師の対応として適切なものはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 手術室内で児と対面させる。
- b. 離床前から足首の背屈、膝の曲げ伸ばしを促す。
- c. 出産体験の想起を行う。
- d. 鎮痛薬の投与はできるだけ避ける。
- e. 授乳は産褥 2 日目から行う。

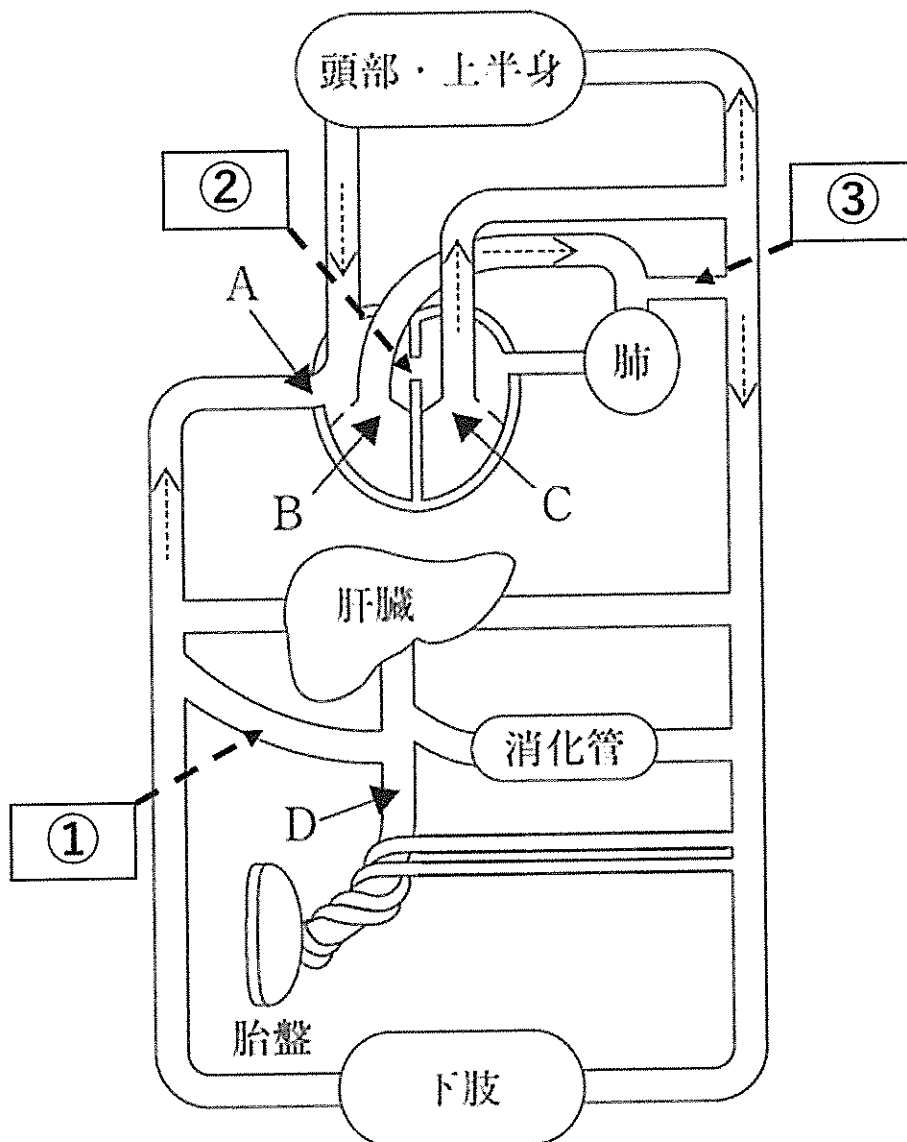
【問 7】Apgar score 〈アプガースコア〉について、(1) (2) に答えなさい。

(1) 次の新生児のアプガースコアを求めなさい。

心拍数が 80 回 / 分、弱々しく泣いている。手足はだらんとし、刺激に対して顔をしかめた。体幹の皮膚色はピンク色だが、四肢にはチアノーゼが見られる。

(2) アプガースコアによる評価の問題点について 40 字以内で記述しなさい。

【問 8】 胎児の血液循環を図に示す。次の (1) (2) に答えなさい。



(1) ① ~ ③ の名称を答えなさい。

(2) 血液中の酸素分圧が高い順に A~D を並べなさい。

Ⅴ 次の【問 1】～【問 4】に答えなさい。

【問 1】年齢と起こりやすい事故の組み合わせで、正しいものはどれか。次の a～eの中からすべて選びなさい。

- a. 3 か月 スタイによる窒息
- b. 6 か月 机の角での打撲
- c. 1 歳 ライターによる熱傷
- d. 1 歳 6 か月 ベランダからの転落
- e. 2 歳 浴槽へ転落し溺れる

【問 2】事例を読んで、次の（１）（２）に答えなさい。

D さん、10 歳、男児。2 週間前から口渇、多飲、夜尿があった。小学校の健康診断で尿糖が陽性であり、小児科を受診した。受診時の検査で、血糖値 400 mg / dL、HbA1c 9.8 %、動脈血 pH 7.30、尿糖（4+）、尿ケトン体（+）であり、1 型糖尿病と診断され入院した。インスリン注射 4 回法（朝・昼・夕に超速効型インスリン、就寝前に持続型インスリン）が開始された。

（１）D さんへの指導で適切なものはどれか。次の a～eの中からすべて選びなさい。

- a. 小学校ではインスリン注射をしない。
- b. インスリン注射は、毎回、同一部位に行う。
- c. 朝・昼・夕のインスリンは、食事直前に皮下注射を行う。
- d. 冷汗・手のふるえ（低血糖）の症状があれば、保健室で休む。
- e. インスリンの自己注射は、できるだけ入院後すぐに開始する。

(2) Dさんが利用できる社会資源はどれか。次のa～eの中からすべて選びなさい。

- a. 養育医療制度
- b. 自立支援医療制度
- c. 指定難病の医療費の助成
- d. 小児慢性特定疾病医療費の助成
- e. 医療的ケア児支援センターへの相談

【問3】事例を読んで、次の問いに答えなさい。

Eちゃん、1歳、女児。右前腕部の熱傷で、母親とともに救急外来を受診した。Eちゃんは母親に抱っこされ、しゃくりあげるように泣いている。右前腕部に境界が不鮮明な発赤があり、一部に水疱ができています。母親は、「宅配便の荷物を受け取っている時に、Eちゃんが電気ケトルを倒してしまい、そのお湯がかかった。Eちゃん、ごめんね」と、涙を浮かべながら謝っている。

受診時のアセスメントについて適切なものはどれか。次のa～eの中からすべて選びなさい。

- a. 熱傷は浅達性Ⅱ度である。
- b. 熱傷の範囲は10%である。
- c. 熱傷は軽症であり、外来通院でよい。
- d. 熱傷の境界が不鮮明なことから虐待の可能性が高い。
- e. 母親は自責の念を抱いている可能性が高い。

【問4】事例を読んで、次の（１）（２）に答えなさい。

Fちゃん、3歳、男児。生後3か月のときにかかりつけ医により、牛乳と鶏卵による食物アレルギーと診断された。それ以降、医師の指示で牛乳と鶏卵の除去食療法をしている。今回、Fちゃんは保育所の入所にあたり、かかりつけ医からアレルギー外来のあるG病院を紹介され受診した。Fちゃんは身長95cm、体重13.1kg、自分の名前と年齢を答えることができる。絵本の読み聞かせが好きで、1冊を最後まで座って聞くことができる。階段を1人で昇ることができるが、スキップはできない。排泄はおむつにしている。

（１）看護師の両親への対応で最も適切なものはどれか。次のa～eの中から1つ選べなさい。

- a. 食物アレルギーがあるため、保育所には入所させない方がよいと助言する。
- b. 身体発育は標準であることを説明し、安心感を与える。
- c. 絵本に集中できるのは年齢以上の認知発達を示すため、知能検査を提案する。
- d. スキップができないため、発達遅滞を疑い、専門機関の受診を勧める。
- e. おむつが外れていないため、保育所入所前に排泄トレーニングを強く促す。

G病院の医師から両親に、アドレナリン自己注射薬の投与練習を行うよう指示があった。さらに、牛乳と鶏卵の摂取制限を継続すること、近日中に牛乳を用いた食物経口負荷試験を計画することが説明された。両親から看護師に「保育所での生活や将来のことが心配です」と訴えがあった。

（２）看護師の両親への説明で正しいものはどれか。次のa～eの中からすべて選べなさい。

- a. 「不安があるのは当然です。保育所と連携しながら対応していきましょう」
- b. 「今後は鶏卵を避ける必要がなくなりますので、経過をみていきましょう」
- c. 「アレルギー疾患生活管理指導表を活用し、保育所と情報共有しましょう」
- d. 「保育所の受け入れが難しい場合は、自宅での育児を考えてみてください」
- e. 「アドレナリン自己注射薬は、保育所職員も投与できるように練習しておきましょう」

このページ以降は白紙です。

